## 実務経験のある教員等による授業科目一覧**【柔道整復学科】**

授業科目	単位数	実務経験	のある科目担当教	員の氏名
柔道整復学・総論	1	味村 吉浩		
柔道整復学・総論Ⅱ	1	栗山 貴行		
柔道整復学・総論Ⅲ	1	谷口 佳奈美		
柔道整復学・各論	2	尾藤 何時夢		
柔道整復学・総論IV	2	尾藤 何時夢	範 菜々美	
柔道整復学・総論V	1	範・菜々美		
基礎柔道整復学	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	
基礎柔道整復学Ⅱ	1	谷口 佳奈美		
柔道整復学・各論Ⅱ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論Ⅲ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論IV	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論V	2	範 菜々美		
柔道整復学・各論VI	1	範 菜々美		
柔道整復学・各論Ⅶ	1	味村 吉浩		
臨床演習	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
臨床演習Ⅱ	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
臨床演習Ⅲ	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
柔道整復実技	2	尾藤 何時夢		
柔道整復実技Ⅱ	1	栗山 貴行		
柔道整復実技Ⅲ	2	栗山 貴行		
臨床実習	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	栗山 貴行
臨床実習Ⅱ	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	栗山 貴行
合 計	27			

利日	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌口	山医療	スポー	-ツ専	門学校	
171	<u> </u>						<b>承</b>	道整復師	スホ	・。ーツトレー	ナー		日本語
授業和	斗目名			科与	ŽΙ		担	当教員名			阪本	尚生	
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次			3年次
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期 集中	前期	後期	集中	前期	後期 集中
授業	概要												
授業	目標												
成績詞	平価法	授業態	度、提¦	出物、期	末試験	をもとに総合的	りに評価	価する。					
実務	経験	なし											
回数						授	業計画	Î					
1		物質の素になる原子・分子、アミノ酸											
2		遺伝物質としてのDNA、ヌクレオチド											
3		遺伝物質としてのDNA、タンパク質の復習											
4						セントラル	ドグマ	つしくみ					
5				ì	遺伝物質	・セントラル	ドグマ	の復習、脂質	質と糖	質			
6				いので	ちの働き	、恒常性、内容	分泌系	、ホルモンの	の働く	しくみ	L.		
7						ホルモン	の働く	しくみ					
8			5	免疫機能	と免疫	を司る細胞の種	類、	自然免疫と適	i応免疫	安のし	くみ		
9				免	.疫の復	習、神経系のし	くみ、	中枢神経と	末梢ネ	申経			
10			神絲	圣細胞の	つくり。	と電気信号の伝	こわり ラ	方、イオンと	電気の	の基礎の	の復習		
11						復習、神経伝	導と伝	達のしくみ					
12				<b>i</b>	申経細胞	!の興奮伝達の	しくみ	、伝導と伝達	達の違	[V]			
13						1	復習						
14						í	復習						
15						期末記	<b>、</b> 魚	解説					

私口	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌口	山医療	スポー	-ツ専門	門学校	
一	区分						<b>承</b>	道整復師	スホ	゜ーツトレー	ナー	E	日本語
授業和	斗目名			科等	Ž II		担	当教員名			阪本	尚生	
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次		3	3年次
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期 集中	前期	後期	集中	前期	後期 集中
授業	概要												
授業	目標												
成績語	平価法	授業態	度、提出	出物、期	末試験	をもとに総合的	りに評価	価する。					
実務	経験	なし											
回数						授	業計画	Ī					
1		神経伝達物質の種類、感覚系、感覚の一般的性質											
2		感覚器官(嗅覚、視覚)											
3						感覚器	官(視	2覚)					
4						筋肉のつくり	と収約	縮のしくみ					
5						筋収縮	すのし	くみ					
6						筋収縮	すのし	くみ					
7						地球	くの歴り	史					
8						ヒトの脳のし	くみ	とはたらき					
9						ヒトの脳のし	くみ	とはたらき					
10						コミュニケ	ーショ	ョン能力					
11				ヒトロ	の言語現	見象(言葉の理)	解と言	語の表出の	メカニ	ズム)			
12				2	失語実例	1、失語のメカ	ニズム	、睡眠とヒ	トの脳	波			
13					題	睡眠のしくみと	夢を見	しるメカニズ、	<u>ل</u>				
14						ź	復習						
15						期末詞	【験、角	解説					

科目	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌山	山医療	スポー	- ツ専門	門学校		
44日	四万		)				(柔)	<b>直整</b> 復	颠	スポ	゚ーツトレ	ーナー		日本語	ī.
授業和	斗目名			保健体育	育理論 I		担	当教員	]名			吉田	幸平		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次			2年次			3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要					と維持増進できる いら高齢者の特徴					とが、	今後の	健康の	維持増	進に
授業	目標	生涯スポ	ポーツト	レーナー	・ベーシッ	, ク資格の取得を	目指す	>							
成績割	平価法	学習への	の取り	flみ姿勢	、小テ	スト、期末試験	食にて評	戸価す	る。						
実務	経験	なし													
回数						授	業計画								
1	スポーツ	と社会環境	竟図1)カ	`イダンス,	2) 生涯	スポーツトレーナー	-とは	【動画:	水嶋理事	長】, 3	)生涯	スポーツ	トレーナ	一概論	(教本)
2	スポーツ心理学①図)イメージトレーニング①マインドセット														
3		スポーク心理子①凶)イメージトレーニング②イメージの力のトレーニング													
4			ス	ポーツ	心理学③	図) イメージ	トレー	ニンク	ブ③未み	来をイ	メーシ	ブする			
5	スポーツ	心理学④図 ፣	ロジック・ブ	レインとは,	ロジック・ブ	レインの使い方,ロジック	・ブレイン	でわかる	こと,ロジッ	<b>ック・ブ</b> レ	インエン:	ジンとは,ロ	ジック・フ	゛レインのク	分析経緯
6	スポーツ	心理学⑤☑ ロジッ	ク・プレインのコ	ミュニケーション	論(ベーシック編)	)自分の中の 4 つの自分を知る,優先	上順位,戦略3分類	[,ヒューマン	リレーション,朴	目関図,12分類マ	トリックス,ほ	ごジネスの取り組	み,マネジメン	ト,ブレゼンテ・	ーション
7	スポーツ	心理学⑥፟፟፟⊠ 「	コジック・ブ	レインのコミ	ュニケーショ	ョン論(オペレーション絹	ii)マーケラ	・イング・	・セールス,`	マネジメン	ト,ビジオ	ススタイル	,ビジネス	の役割,能力	り,リズム
8	スポーツ圏	長学① <b>澂</b> ) e-le	earning,人体	の区分と名称	尓(6分),身	体の方向をあらわす用語	(16分), 1	代表的な	関節運動(	教本),脊	柱(教本)	)			
9	スポー	-ツ医学	2 <b>X</b> f	か役割	(4分),乍	予の構造(9分),角 組みと働			>),骨格	筋につ	いいて	(6分) 2	2)骨	と関節	iの仕
10	スポーツ	トレーナー	-学①1)	e-learning	,ファンク	'ショナルトレーニン	/グとは (	(14分)	,基礎動	作の重要	要性(11/2	分), 正し	い姿勢と	プランク	ク(24分)
11	スポーツト1	ノーナー学②1)	e-learning,上版	友の動きについて	(13分),下肢の重	勃きについて(15分),2)発達隣	(害と不器用さ	(教本),3)	全身を連動さ	せた回旋運動	について(1	6分),運動指導	におけるコー	-チングについ	って(31分)
12	指導方法(	Û1) e-learni	ingプログラ	ミングの重要	性について(1:	2分),子ども、高齢者運動	助指導の基礎	<b>芒</b> 知識(22)	分),高齢者	舌の運動指導	尊(23分	2)高齢者の	身体とトレ	ノーニング	(教本)
13	1	指導方法	(21)	e-learni	ing児童類	期の運動指導(1	17分)	2) 寸	子どもの	り身体	とトレ	ノーニン	/グ(	数本)	
14	関	係法規図	(E) e-le	arning	医療行為	と医療類似行為	為(11分	), 禁	<b>企业</b>	頁(11分	), 2	)用語	解説	(教本)	)
15						期	末試験								

利日	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌口	山医療	スポー	-ツ専門	門学校		
44日	四万						(柔)	<b>直整</b> 復	飹	スホ	゜ーツトレー	ナー		日本語	ŗ
授業科	斗目名			保健体育	育理論 II		担	当教員	名			吉田	幸平		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次			2年次			3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要					と維持増進できる いら高齢者の特徴					とが、	今後の	健康の	維持増	進に
授業	目標	生涯スポ	ポーツト	レーナー	アドバン	/ス資格の取得を	目指す	o							
成績割	平価法	学習へ	の取り糸	組み姿勢	、小テ	スト、期末試験	食にて評	『価す	る。						
実務	経験	なし													
回数							業計画								
1		スポーツと社会環境 1)ガイダンス,2)人間関係を築くための心理学													
2	スポーツと社会環境 1) ガイグンへ, 2) 人間関係を集くための心理子 スポーツ心理学 1) オープンウィンドウ64作成														
3		スポーツ心理学 1)オープンウィンドウ64作成 栄養学① 1)スポーツ栄養学、三大栄養素と,五大栄養素													
4					栄養学	② 1)エネルキ	一代謝	,再	合成、	糖新生	ŧ				
5						栄養学③ 1	)時間	栄養	学						
6			運	動実技	指導①	1) ティーボー	ルスオ	ポーツ	コンフ	゚゚゚ヺイ゚	アンス	概論			
7			運動実	技指導の	②1) テ	ィーボール ル・	ール規則	削,奢	<b>野判方法</b>	去,運	営方法	,指導	<b>拿法</b>		
8				ž	運動実技	:指導③ 1)ティ	ーボー	-ル 抄	 と打の基	<b></b> 基礎動	 作				
9				運動領	実技指導	<b>4</b> 41) ティース	ドール	試合道	重営, 言	試合形	式練習	i I			
10				運動指	導 1)-	子どもと高齢者	行の運動	指導	方法の	特性と	と留意	点			
11	ス	ポーツコ	コンディ	ショニ	ング 1)	)ストレッチ理	見論, ス	トレ	ッチの	種類,	各ス	トレッ	チ方法	の理角	产
12	ト1 	レーニン	´グ指導 	1) ト	レーニン	/ グ指導法理論	,各ト 	レージ	ニング	方法の	)理解 2	2) トに	ノーニン	ノグ実	践
13	障がい	スポー	ツトレー	ーニング	指導①	1)障がいスオ	ポーツ、	障が	いスポ		の歴史、	、車い	すの種	類と仕	上組み
14		 障;	がいスカ	ポーツト	レーニ	ング指導② 1	 )障ヵ	い者	のトレ	ーニン	ノグ適川	 応と実	 技指導		
15						期	末試験								

科目	豆厶	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		<b>1</b>	和歌山	」医療	スポー	-ツ専	門学校	Š	
171	<u> </u>	(	)				柔道	整復的		スホ	゜ーツトレー	ーナー		日本語	다 다
授業科	斗目名			保健体育	育演習 I		担当	í教員名	名	吉	田幸田	乙、橋川	爪務、	枠谷隆	译平
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1	年次			2年次			3年次	
単位	立数		2			授業時間数	前期後	<b>後期</b>	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	柔道の基	基本であ	る礼法・	受身を習	習得をし、柔道初	〕段を目標	票に投持	支も実	施する	0				
授業	目標	試合審判	判規定や	投の形を	習得し、	実践できる。									
成績割	平価法	期末試	験をもる	とに評価	iする。										
実務	経験	なし													
回数						授	業計画								
1					<i>Ā</i>	だ道の授業進行	について	説明、	、礼法	Ė					
2						礼法、受身(	後受身、	横受县	身)						
3					礼法、	、受身(後受身	∤、横受:	身、前	可受	身)					
4					礼法、	、受身(後受身	∤、横受.	身、前	<b>可受</b>	身)					
5					礼法、	、受身(後受身	∤、横受:	身、前	可回受	身)					
6						受身、投	の形(浮	至落)							
7						受身、投	の形(浮	혿落)							
8					受	身、投の形(滔	浮落)、	投技(	(大腰)	)					
9					受身、	投の形(背負拐	设)、投	技の基	·礎(	大腰)					
10					受身、	投の形(背負担	设)、投	技の基	·礎(	体落)					
11					受身、	投の形(背負担	设)、投	技の基	·礎(	体落)					
12					受身、	投の形(肩車)	、投技	の基礎	楚(背	負投)					
13					受身、	投の形(肩車)	、投技	の基礎	生(背	負投)					
14						:	復習								
15						期	末試験								

利日	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	<b></b>	和歌山	医療	スポー	-ツ専門	門学校		
4十日	<u> </u>		)				柔道整復節		スポ	゜ーツトレー	ナー		日本語	ī
授業和	斗目名		1	保健体育	育演習 Ⅱ		担当教員名	名	吉	田幸平	乙、橋戸	<b>爪務、</b>	枠谷隆	评
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次	
単位	立数		2			授業時間数	前期後期第	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	柔道の基	基本であ	る礼法・	受身を習	得をし、柔道初	段を目標に投技	支も実力	施する	0				
授業	目標	試合審判	判規定や	没の形を	習得し、	実践できる。								
成績言	平価法	期末試	験をもと	に評価	iする。									
実務	経験	なし												
1	礼法、受身													
2				投の形	(手技)	の復習、投技	(大腰、体落	、背	負投)	の復習	印首			
3					ł	投の形(手技)	の復習、約束	乱取						
4					1	投の形(手技)	の復習、約束	乱取						
5						投の形(浮)	腰)、約束乱即	取						
6						投の形(浮	腰)、約束乱即	取						
7						投の形(浮)	腰)、約束乱即	取						
8						投の形(払)	腰)、約束乱即	取						
9						投の形(払)	要)、約束乱耳	取						
10						投の形(払	腰)、約束乱即	取						
11						投の形(釣辺	腰)、約束乱	取						
12						投の形(釣辺	腰)、約束乱	取						
13						投の形(釣込	腰)、約束乱	取						
14					投の	形(手技、腰	技)の復習、約	約東刮	L取					
15						期	未試験							

4N 🗆	屋八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌!	山医療	スポー	ツ専門	門学校		
科目	<b>丛</b> 分						柔道整復師	スホ゜	ーツトレー	ナー		日本語	î Î
授業和	斗目名			外国	国語		担当教員名		ħ	黄山	さゆり	)	
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	中学高校的とした			法の復習	習を必要に応じて	取り入れ、語彙の蓄	積、文	法力の	定着、	読解力	の要請	を目
授業	目標						かれたメッセージ、 ことができるなど、						概要
成績評	平価法	学習へ	の取り糸	且み姿勢	、クラ	スメートとの協	<b>弱働、提出物、</b> 小テ	・スト、	期末記	試験に	て評価	<b>fi</b> する。	
実務	経験	なし											
回数						授	業計画						
1					授業に	こついて、辞書の	の使い方、英語の	5 文型					
2			短	い英文	読解 E	Iave a Good Da	y with a Good Bre	akfast	文法	復習			
3		終末	天の約束	につい	て書かれ	したメッセージ	のやり取りと電子	書籍に、	ついて	きかれ	れたSN	IS	
4		,	セールに	こついて	書かれ	た広告、スピー	・チコンテストにつ	いて書	かれた	た告知	記事		
5			ハワノ	イについ	て書か	れた説明文、高	5校の一般公開日に	ついて	書かれ	れた掲	示		
6				Ę	註車場の	空き状況につい	いて書かれたウェン	ブサイ	<u> </u>				
7		Ź	リケッ	トについ	いて書か	れた説明文、、	マラリアの予防に、	ついて青	書かれ	た新聞	引記事		
8					;	ホテルについて	このレビューサイト						
9					ノ`	<sup>ドスツアーにつ</sup>	いてのウェブサイ	<b>}</b>					
10					<i>-</i>	水族館のイベン	/トについての広告	<del>.</del>					
11						ドバイ4	日間の旅程表						
12					注	文後の対応につ	いいて書かれたメー	・ル					
13				映画	i館上映	スケジュールに	こついて書かれたウ	゚ェブサ	-イト				
14					シ	<sup>ジェンダーにつ</sup>	いて書かれた説明』	文					
15						期末記	(験、解説						

投業料理	科目	区分	基礎分	)野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	」医療ス	ポーツ専	門学校		
投業形態   議義   高羽   実枝   実育   履修年次   1年次   2年次   3年次   3年次   4年次   4年次   40   40   40   40   40   40   40   4										スホ゜-			日本語	
現存数				<u>ਮੁ</u> ਖ ਹਹਾ			E lk k v		名			を	0.5%	
投業期要   教科書として解剖学 (改訂第2版) を使用し講義を行う。各項目でとに小テストを実施し、学習の   投業目標				<b>演習</b>	実技	<b>実習</b>			# 1			-)4-He		
授業目標   本道整復師にとって必要な運動器の知識を身につける。   成精評価法   中間テスト、則末テスト、授業態度を総合的に評価する。   実業計画   1					77 day 11/4	(→1 <del></del>								
東務経験 なし   技業計画			教科書と	して用	解剖字	(改訂第	2版)を使用し	·講義を行う。	各項目	1000	小アスト	を実施	し、字督の河	
実務経験   本し   投変計画   目の役割、骨の形状による分類、骨の構造   日の花生   日本語   日本	授業	目標	柔道整復	師にと	とって必	要な運	動器の知識を	身につける。						
回数	成績評	平価法	中間テス	、ト、其	期末テス	、卜、授	業態度を総合的	内に評価する。						
回数	実務	経験	なし											
1		12.00	J				授	業計画						
情表前の形状、骨の連結   骨の延結・一般能   保証   保証   保証   保証   保証   保証   保証   保						骨の	役割、骨の形料	犬による分類、	骨の	構造				
4														
5														
(本幹の構造、機能 7									<b>受</b> 目它					
同甲骨・鎖骨の構造・機能														
10   一根骨・尺骨の構造・機能   一根骨・尺骨の構造・機能   一根間節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月関節   一月   一月   一月   一月   一月   一月   一月   一							肩甲骨・鎖	[骨の構造・機						
10														
11		橈骨・尺骨・手の骨の構造・機能												
Trigger		橈骨・尺骨・手の骨の構造・機能 肩関節												
13       手関節、手指の関節         14       復習         15       中間試験、解説         16       寛舎・督盤の構造・機能         17       骨盤・大腿骨の構造・機能         18       大腿骨・脛骨・腓骨の構造・機能         19       歴号・歴代・腓骨・足の骨の構造・機能         20       足の骨の構造機能         21       股関節         22       藤関節         23       足関節         24       足趾の関節         25       頭蓋骨の構造・機能         26       頭蓋骨の構造・機能         27       類関節         28       復習         29       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下め筋														
15														
16   第十十四個	14													
17									Te.					
大腿骨・脛骨・腓骨の構造・機能   19														
Page														
20       足の骨の構造機能         21       股関節         22       膝関節         23       足関節         24       足趾の関節         25       頭蓋骨の構造・機能         頭蓋骨の構造・機能       頭蓋骨の構造・機能         27       頭蓋骨の構造・機能         28       復習         29       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         40       下肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
22							足の骨	の構造機能	<i>D</i> 7 1 1 0					
23       足関節         24       足趾の関節         25       頭蓋骨の構造・機能         26       頭蓋骨の構造・機能         27       顎関節         28       復習         29       中間試験         30       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
24       足趾の関節         25       頭蓋骨の構造・機能         26       頭蓋骨の構造・機能         27       顎関節         28       復習         29       中間試験         30       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上皮の筋         40       下肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
25       頭蓋骨の構造・機能         26       頭蓋骨の構造・機能         27       顎関節         28       復習         29       中間試験         30       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
26       頭蓋骨の構造・機能         27       顎関節         28       復習         29       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
28     復習       29     中間試験       30     中間試験の解説       31     骨格筋総論       32     骨格筋総論       33     頭部・体幹の筋       34     頭部・体幹の筋       35     頭部・体幹の筋       36     上肢の筋       37     上肢の筋       38     上肢の筋       39     上肢の筋       40     下肢の筋       41     下肢の筋       42     下肢の筋       43     下肢の筋														
29       中間試験         30       中間試験の解説         31       骨格筋総論         32       骨格筋総論         33       頭部・体幹の筋         34       頭部・体幹の筋         35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋							n 7							
30							-1-							
31														
32骨格筋総論33頭部・体幹の筋34頭部・体幹の筋35頭部・体幹の筋36上肢の筋37上肢の筋38上肢の筋39上肢の筋40下肢の筋41下肢の筋42下肢の筋43下肢の筋														
34頭部・体幹の筋35頭部・体幹の筋36上肢の筋37上肢の筋38上肢の筋39上肢の筋40下肢の筋41下肢の筋42下肢の筋43下肢の筋	32						骨材	各筋総論						
35       頭部・体幹の筋         36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
36       上肢の筋         37       上肢の筋         38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
37     上肢の筋       38     上肢の筋       39     上肢の筋       40     下肢の筋       41     下肢の筋       42     下肢の筋       43     下肢の筋														
38       上肢の筋         39       上肢の筋         40       下肢の筋         41       下肢の筋         42       下肢の筋         43       下肢の筋														
40     下肢の筋       41     下肢の筋       42     下肢の筋       43     下肢の筋														
41     下肢の筋       42     下肢の筋       43     下肢の筋														
42     下肢の筋       43     下肢の筋														
143 下肢の筋														
┃ 44 │							<u> </u>	<u>版</u> る版 復習						
45 復習、期末試験							復習、							

<b>₹</b> /1 □	<b>ラ</b> ハ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和	歌山區	医療スプ	ポーツ専	門学校		
件日	区分						柔道	<b>直整復師</b>	>	スポ゜ーツ	パレーナー		日本語	五日
授業和	斗目名			解剖	学II		担当	台教員名			宮崎	可一		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	_ 1	年次		2年	<b>三</b> 次		3年次	<b>.</b>
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期 集	中前	前期 後	期集中	前期	後期	集中
授業	概要	人体の材	構造を∑	立体的、	空間的	に理解できるよ	くう図を	用いなが	がら学	学習する	0			
授業	目標	柔道整征	复師とし	しての臨	床や国	家試験に必要が	つ十分	な知識さ	を豊富	喜な問題	演習を通	追して身	身につ	ける。
成績語	平価法	定期試験	験、小テ	スト、授	業態度	を総合的に判断	<b>折する。</b>							
実務	経験	なし												
回数							業計画							
1							到学概説							
2							到学概説							
3							到学概説							
4		人体解剖学概説(4)  脈管系(1)  脈管系(2)  脈管系(2)												
5		脈管系(1) 脈管系(2)												
7						-								
8														
9		脈管系(2) 脈管系(3) 脈管系(4) 脈管系(5) 脈管系(6)												
10														
11							章系(7)							
12							音系(8)							
13							章系(9)							
14							字系(10)							
15						中	間試験							
16						内原	蔵系(1)							
17						内原	蔵系(2)							
18						内服	蔵系(3)							
19						内原	蔵系(4)							
20						内肌	蔵系(5)							
21						内原	蔵系(6)							
22						内原	蔵系(7)							
23							蔵系(8)							
24							蔵系(9)							
25							蒸系(10)							
26							蒸系(11)							
27							蒸系(12)							
28							<b>蒸系(13)</b>							
29							藏系(14)							
30						期末記	<b>、解</b>	説						

4V 🗆	<b>ラハ</b>	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ専	<b></b> 『門学校			
件日	区分						柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語			
授業和	斗目名	日名   日本語   日本語										
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次			
単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 集中	可 前期 後期 集中			
授業	概要	人体の	構造をユ	立体的、	空間的	に理解できるよ	くう図を用いながら	学習する。				
授業	目標	柔道整征	復師とし	しての臨	床や国	家試験に必要か	いつ十分な知識を豊	富な問題演習を	通して身につける。			
成績詞	評価法	定期試	験、小テ	スト、授	業態度	を総合的に判断	fする。					
実務	経験	なし										
回数						授	業計画					
1						内分	泌系(1)					
2						内分	泌系(2)					
3												
4	内分泌系(4)											
5	内分泌系(5)											
6	内分泌系(5) 内分泌系(6) 内分泌系(7)											
7	内分泌系(5) 内分泌系(6) 内分泌系(7) 内分泌系(8)											
8	内分泌系(7) 内分泌系(8)											
9	内分泌系(7) 内分泌系(8) 神経系(1)											
10						神絲	圣系(2)					
11						神糸	圣系(3)					
12						神糸	圣系(4)					
13						神糸	圣系(5)					
14						神糸	圣系(6)					
15						中間試	<b>大験、解説</b>					
16						神絲	圣系(7)					
17						神絲	<b>圣</b> 系(8)					
18						神絲	<b>圣</b> 系(9)					
19						神経	圣系(10)					
20						神経	圣系(11)					
21						神経	圣系(12)					
22						神経	圣系(13)					
23						神経	圣系(14)					
24						感覚	<b></b>					
25						感覚	<b></b>					
26						感	<b></b>					
27						感	<b></b>					
28						体表解剖、	映像解剖(1)					
29							映像解剖(2)					
30							<b>【験、解説</b>					

	基礎	分野	専門基礎	<b></b>	専門分野	和歌口	山医療スポー	ツ専門	学校
科目区分			C	)		柔道整復師	スポ゜ーツトレージ	ナー	日本語
授業科目名			生理:	学 I		担当教員名		岡田俊	建志
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次		3年次
単位数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 3	集中 i	前期 後期 集中
授業概要	教科書と	して生	理学第4版	反を用い	て、ヒトの正常	な生理機能について	学習する。		
授業目標		柔道	整復とし	して、必	必要な人体の生	理機能に関する基礎	楚医学的知識	を習得	:する。
成績評価法	期末試	験をもる	とに評価	する。					
実務経験	なし								
回数					授	業計画			
1						の基礎(1)			
2						の基礎 (2)			
3						理学 (1)			
4						理学 (2)			
5						理学 (3)			
6						上理学 (1)			
7						上理学 (2)			
8					神経の生物の				
9					神経の5 神経の5				
10						生理学(5) 生理学(1)			
12						上理子 (1) 上理学 (2)			
13						上理学(3)			
14						上理学 (4)			
15						式験、解説			
16						上理学 (1)			
17						上理学 (2)			
18						上理学(3)			
19						上理学 (4)			
20					感覚の生	<b>生理学</b> (5)			
21					感覚の生	<b>生理学</b> (6)			
22					内分泌の	生理学(1)			
23					内分泌の	生理学 (2)			
24					内分泌の	生理学 (3)			
25					内分泌の	生理学 (4)			
26					内分泌の	生理学 (5)			
27					生殖の生	<b>生理学(1)</b>			
28					生殖の生	<b>生理学</b> (2)			
29					·	<b>上理学</b> (3)			
30					期末記	<b>弌験、解説</b>			

技業利目名	4/1 H	IZΛ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ	ツ専門学	<sup>2</sup> 校		
技業形態	件日	区方						柔道整復師	スポ゜ーツトレーナ		日本語		
平6数   2   後素時間数   前期   後期   集中   前期   後期   集中   前期   後期   集中   校期   集中   校別   集中   在   校別   全   在   校別   在   在   校別   在   本   本   本   本   本   本   本   本   本	授業和	斗目名			生理	学 II		担当教員名		岡田健	志		
授業機要 教科書として生理学第4版を用いて、とトの正常な生理機能について学習する。	授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次		3年次		
技業目標	単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 身	集中 前	期後期集中		
映務経験 なし   接業計画	授業	概要	教科書と	して生	理学第4#	反を用い	て、ヒトの正常	な生理機能について	学習する。				
実務経験   なし   技業計画	授業	目標	柔道整征	復として	て、必要	な人体	の生理機能に関	引する基礎医学的知	識を習得する	0			
回数 授業計画  1 血液の生理学 (1)  2 血液の生理学 (2)  3 血液の生理学 (3)  4 血液の生理学 (5)  6 骨の生理学 (1)  7 骨の生理学 (1)  7 骨の生理学 (2)  8 縮環の生理学 (1)  9 循環の生理学 (2)  10 循環の生理学 (3)  11 解析場の生理学 (3)  11 解析場の生理学 (4)  12 呼吸の生理学 (1)  13 呼吸の生理学 (1)  14 呼吸の生理学 (3)  15 中間試験、解説  16 泌尿器の生理学 (3)  15 中間試験、解説  16 泌尿器の生理学 (2)  18 泌尿器の生理学 (3)  19 業養 代謝 (1)  20 業養 そ代謝 (2)  21 業養 と代謝 (3)  22 消化と吸収 (1)  31 消化と吸収 (2)  31 光度収収 (4)  26 消化と吸収 (4)  27 体温とその調節 (1)  28 体温とその調節 (2)	成績詞	評価法	期末試	験をもる	とに評価	iする。							
1       血液の生理学 (2)         3       血液の生理学 (3)         4       血液の生理学 (4)         5       血液の生理学 (5)         6       骨の生理学 (1)         7       骨の生理学 (2)         8       循環の生理学 (1)         9       循環の生理学 (2)         10       循環の生理学 (3)         11       循環の生理学 (1)         12       呼吸の生理学 (1)         13       呼吸の生理学 (2)         14       中國、生理学 (3)         15       中間試験、解説         16       泌尿器の生理学 (1)         17       泌尿器の生理学 (2)         18       泌尿器の生理学 (3)         19       業養と代謝 (1)         20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         12       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (3)         消化と吸収 (4)       消化と吸収 (5)         25       消化と吸収 (5)         26       消化との収 (5)         27       体温とその調節 (2)         4       体温とその調節 (3)	実務	経験	なし										
2       血液の生理学 (2)         3       血液の生理学 (3)         4       血液の生理学 (4)         5       血液の生理学 (5)         6       骨の生理学 (1)         7       骨の生理学 (2)         6       衛環の生理学 (1)         9       循環の生理学 (2)         10       循環の生理学 (3)         11       呼吸の生理学 (1)         13       呼吸の生理学 (2)         14       呼吸の生理学 (3)         15       中間試験、解説         16       泌尿器の生理学 (2)         18       泌尿器の生理学 (3)         19       栄養と代謝 (1)         20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (3)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         体温とその調節 (2)         体温とその調節 (3)	回数						授	業計画					
1	1						血液の生	<b>上理学</b> (1)					
4 血液の生理学(4)	2						血液の生	<b>上理学</b> (2)					
<ul> <li>1 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)</li></ul>	3						血液の生	<b>上理学</b> (3)					
6 骨の生理学(1) 7 骨の生理学(2) 8 偏環の生理学(1) 9 循環の生理学(2) 10 循環の生理学(3) 11 循環の生理学(4) 12 呼吸の生理学(1) 13 呼吸の生理学(2) 14 呼吸の生理学(3) 15 中間試験、解説 16 泌尿器の生理学(1) 17 泌尿器の生理学(2) 18 泌尿器の生理学(3) 19 栄養と代謝(1) 20 栄養と代謝(2) 21 栄養と代謝(2) 21 栄養と代謝(3) 22 消化と吸収(1) 23 消化と吸収(2) 24 消化と吸収(3) 3 消化と吸収(4) 26 消化と吸収(5) 27 体温とその調節(1) 28 体温とその調節(2) 29 体温とその調節(2)	4						血液の生	<b>上理学</b> (4)					
一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方	5					上理学(5)							
8 循環の生理学 (1) 9 循環の生理学 (2) 10 循環の生理学 (3) 11 循環の生理学 (4) 12 呼吸の生理学 (1) 13 呼吸の生理学 (2) 14 呼吸の生理学 (3) 15 中間試験、解説 16 泌尿器の生理学 (1) 17 泌尿器の生理学 (2) 18 ※養と代謝 (1) 20 栄養と代謝 (1) 20 栄養と代謝 (2) 21 栄養と代謝 (3) 22 消化と吸収 (1) 23 消化と吸収 (2) 24 消化と吸収 (3) 25 消化と吸収 (4) 26 消化と吸収 (4) 26 消化と吸収 (5) 27 体温とその調節 (1) 28 体温とその調節 (2) 4 体温とその調節 (2) 4 体温とその調節 (2) 4 体温とその調節 (2)	6												
( 情環の生理学 (2) ( 10	7						骨の生	理学 (2)					
10 循環の生理学 (3) 11 循環の生理学 (4) 12 呼吸の生理学 (1) 13 呼吸の生理学 (2) 14 呼吸の生理学 (3) 15 中間試験、解説 16 泌尿器の生理学 (1) 17 泌尿器の生理学 (2) 18 泌尿器の生理学 (3) 19 栄養と代謝 (1) 20 栄養と代謝 (1) 20 栄養と代謝 (2) 21 栄養と代謝 (3) 22 消化と吸収 (1) 23 消化と吸収 (1) 24 消化と吸収 (2) 24 消化と吸収 (3) 25 消化と吸収 (4) 26 消化と吸収 (5) 4 法とその調節 (1) 4 法とその調節 (2) 4 体温とその調節 (2) 4 体温とその調節 (2)	8						循環の生	<b>上理学</b> (1)					
11	9						循環の生	<b>上理学</b> (2)					
呼吸の生理学 (1)     呼吸の生理学 (2)     呼吸の生理学 (3)     中間試験、解説     総尿器の生理学 (1)     総尿器の生理学 (1)     総尿器の生理学 (2)     総尿器の生理学 (3)     栄養と代謝 (1)     栄養と代謝 (2)     栄養と代謝 (3)     栄養と代謝 (3)     北と吸収 (1)     北と吸収 (2)     消化と吸収 (3)     消化と吸収 (4)     消化と吸収 (5)     将温とその調節 (1)     本温とその調節 (2)     体温とその調節 (3)	10						循環の生	<b>上理学(3)</b>					
13       呼吸の生理学 (2)         14       呼吸の生理学 (3)         15       中間試験、解説         16       泌尿器の生理学 (1)         17       泌尿器の生理学 (2)         18       栄養と代謝 (1)         20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (2)         24       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (4)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         28       体温とその調節 (2)         29       体温とその調節 (3)	11						循環の生	<b>上理学</b> (4)					
14       呼吸の生理学 (3)         15       中間試験、解説         16       泌尿器の生理学 (1)         17       泌尿器の生理学 (2)         18       ※養と代謝 (1)         20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (2)         24       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (4)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         28       体温とその調節 (2)         29       体温とその調節 (3)	12						呼吸の生	<b>上理学</b> (1)					
15       中間試験、解説         16       泌尿器の生理学(1)         17       泌尿器の生理学(2)         18       泌尿器の生理学(3)         19       栄養と代謝(1)         20       栄養と代謝(2)         21       栄養と代謝(3)         22       消化と吸収(1)         23       消化と吸収(2)         24       消化と吸収(3)         25       消化と吸収(4)         26       消化と吸収(5)         27       体温とその調節(1)         28       体温とその調節(2)         29       体温とその調節(3)	13						呼吸の生	<b>上理学</b> (2)					
16	14						呼吸の生	<b>上理学(3)</b>					
17	15						中間討	<b>【験、解説</b>					
18   泌尿器の生理学(3)     19   栄養と代謝(1)     20   栄養と代謝(2)     21   栄養と代謝(3)     22   消化と吸収(1)     23   消化と吸収(2)     24   消化と吸収(3)     25   消化と吸収(4)     26   消化と吸収(5)     27   体温とその調節(1)     28   体温とその調節(2)     29   体温とその調節(3)	16						泌尿器の	生理学(1)					
19       栄養と代謝 (1)         20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (2)         24       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (4)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         28       体温とその調節 (2)         29       体温とその調節 (3)	17						泌尿器の	生理学 (2)					
20       栄養と代謝 (2)         21       栄養と代謝 (3)         22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (2)         24       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (4)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         28       体温とその調節 (2)         29       体温とその調節 (3)	18						泌尿器の	生理学 (3)					
21栄養と代謝 (3)22消化と吸収 (1)23消化と吸収 (2)24消化と吸収 (3)25消化と吸収 (4)26消化と吸収 (5)27体温とその調節 (1)28体温とその調節 (2)29体温とその調節 (3)	19						栄養と	代謝 (1)					
22       消化と吸収 (1)         23       消化と吸収 (2)         24       消化と吸収 (3)         25       消化と吸収 (4)         26       消化と吸収 (5)         27       体温とその調節 (1)         28       体温とその調節 (2)         29       体温とその調節 (3)	20						栄養と	代謝 (2)					
23消化と吸収 (2)24消化と吸収 (3)25消化と吸収 (4)26消化と吸収 (5)27体温とその調節 (1)28体温とその調節 (2)29体温とその調節 (3)	21						栄養と	代謝 (3)					
24消化と吸収(3)25消化と吸収(4)26消化と吸収(5)27体温とその調節(1)28体温とその調節(2)29体温とその調節(3)	22						消化と	吸収 (1)					
25消化と吸収(4)26消化と吸収(5)27体温とその調節(1)28体温とその調節(2)29体温とその調節(3)	23						消化と	吸収 (2)					
26消化と吸収(5)27体温とその調節(1)28体温とその調節(2)29体温とその調節(3)	24						消化と	吸収 (3)					
27体温とその調節 (1)28体温とその調節 (2)29体温とその調節 (3)	25	25 消化と吸収(4)											
28体温とその調節 (2)29体温とその調節 (3)	26	消化と吸収(5)											
29 体温とその調節 (3)	27	7 体温とその調節 (1)											
	28						体温とそ	の調節 (2)					
30 期末試験、解説	29						体温とそ	の調節 (3)					
	30						期末記	<b>大験、解説</b>					

科目	反八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療	スポー	-ツ専	門学校		
177日	<u></u>			(			柔	道整復師	スオ	・。ーツトレー	ナー		日本語	ĺ
授業科	斗目名			運動	协学		担当	当教員名			範菜	を大美		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次	•		3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期(	後期集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	運動学	(改訂 3)	版)、解	割学(改	対訂2版)を用い	って運動	器について学	:習する	) <sub>o</sub>				
授業	目標	運動器は	こついて	説明がで	き、国家	₹試験に向けて┤	一分な知	識を身につけ	·る。					
成績割	平価法	中間試息	験、期ラ	<b></b> 大試験を	もとに	評価する。								
実務	経験	なし												
回数						授	業計画							
1						脊柱の運動	力学、問	題演習						
2	顎関節・胸部の運動学、問題演習													
3	腰部・骨盤の運動学、問題演習													
4						肩関節の運	動学、「	問題演習						
5						肘関節の運	動学、「	問題演習						
6						手関節の運	動学、「	問題演習						
7							復習							
8						中間誌	式験、解	<b></b> 発説						
9						股関節の運	動学、「	問題演習						
10						股関節の運	動学、「	問題演習						
11						膝関節の運	動学、「	問題演習						
12					服	<b>泰関節・足関節</b>	の運動	学、問題演習	国 当					
13						足関節の運	動学、「	問題演習						
14							復習							
15						期	末試験							

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療	スポー	-ツ専	門学校		
竹日	区分			(			柔道	道整復師	スホ	゜ーツトレー	ーナー		日本語	î
授業科	斗目名			運動	协学		担当	当教員名			範菜	々美		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1	1年次		2年次			3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期(	後期集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	運動学	テキスト	を用いな	がら運動	カ学の解説、演習	を行い	国家試験に対	応でき	る知識	後を習得	ぱさせる	•	
授業	目標			について目標とす		*を理解し、柔道	整復師	としての臨床	につな	がる運	動学の	基礎知	識と技	術を
成績語	平価法	定期テ	スト、ノ	小テスト	、授業!	態度を総合的に	判定す	`る。						
	経験	なし												
回数						授	業計画							
16					運	動学入門、動作	₹の観察	・分析・解	析					
17	バイオメカニクス (1)													
18	バイオメカニクス (2)													
19						バイオメカ	コニクス	(3)						
20						人体の構造	こと機能	(1)						
21						人体の構造	こと機能	(2)						
22						人体の構造	こと機能	(3)						
23						中間テ	スト、角	解説						
24						神経	<b>圣</b> 支配比							
25						筋紡錮	<b>连、腱紡</b>	錘						
26						運動発	達(1	)						
27						運動発	達(2	)						
28						運動学	2習(1	)						
29						運動学習	(2)動	機付け						
30						期末テ	スト、角	<b>解説</b>						

<b>₹</b> /\ □	<b>ラ</b> ハ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌口	山医療スポーツ専門	門学校			
	区分						柔道整復	師	スポ゜ーツトレーナー	日本語			
授業和	斗目名			運動生	上理学		担当教員	名	宮崎	刀一			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次	3年次			
単位	立数	2				授業時間数	前期後期	集中	前期後期集中	前期 後期 集中			
授業	概要					ゝらだの生理学的 問題、オリジナル			に変化するのかを学 行う。	ぶ。また運動器の			
授業	目標	運動器の	)生理学	的機能を	理解し、	国家試験問題を	解くのに必要だ	かつ十	分な知識を身につけ	·る。			
			験、小き	テスト、	授業態	度を総合的に割	が価する。						
	経験	なし											
回数						•	業計画						
1						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	理学 (1)						
2							理学 (2)						
3							理学 (3)						
	4   骨の生理学(4)     5   神経生理学(1)												
7													
8							型字(4) 理学(4)						
9							<del></del>						
10						神経生							
11													
12						神経生	理学 (8)						
13						筋紡錘、	腱紡錘(1)						
14						筋紡錘、	健紡錘(2)						
15						中間討	、解説						
16						感覚	器(1)						
17						感覚:	器 (2)						
18						感覚	器(3)						
19							器 (4)						
20							† (1)						
21							(2)						
22							† (3)						
23							(4)						
24							(5)						
25							† (6)						
26							† (7) † (8)						
27							† (8) * k b						
28							まとめ  まとめ						
30						-	ょこ <i>の</i>     験、解説						
30						州不可	M/大、 / / / / / / / / / / / / / / / / / /						

私口	マハ マハ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療スポー	-ツ専	門学校				
一十日	区分						柔道整	復師	スポ゜ーツトレ	ーナー		日本語	1		
授業科	斗目名			病理等	学概論		担当教	員名		野村	真太郎				
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年	欠	2年次	7		3年次			
単位	立数	2				授業時間数	前期後期	集中	前期後期	集中	前期	後期	集中		
授業	概要	疾病の	Dトリガ	ーとなる	細胞や紅	且織の基本的反応	ぶについて、:	学習する	0						
授業	目標	病理等	学の学問	的枠組み	、疾病-	一般の概説、退行	性病変、進	行性病変	、循環障害、	炎症に	こついて	[理解す	·る。		
成績語	平価法	中間試	験、期き	<b></b>	出席状	況等をもとに言	呼価する。								
実務	経験	なし													
回数						授	業計画								
1		疾病の一般、細胞傷害 													
2															
3		循環障害													
4						循	環障害								
5						進行	<b>「性病変</b>								
6						;	移植								
7						:	炎症								
8						中	間試験								
9						免	<b></b>								
10						免疫異常	、アレルギ	_							
11							腫瘍								
12						腫瘍(良性腫	重瘍と悪性腫	重瘍)							
13						先天	<b>E性異常</b>								
14						;	病因								
15						期	末試験								

4V 🗆	I I I	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和	歌山医	療スポー	- ツ専	門学校		
科日	区分			(	)		<b>承</b>	道整復師	>	スポ゜ーツトレ	ーナー		日本語	i
授業和	科目名		リハ	ビリテー	ーション	医学	担	当教員名						
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次	7		3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期集	中前	胡 後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要													
授業	目標													
成績詞	評価法													
	経験	なし												
回数						授	業計画							
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

利日	区公	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ専門	門学校						
科目	<b>应</b> 万						柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語						
授業和	斗目名			一般臨月	下医学 I		担当教員名	未	定						
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次						
単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中						
授業	概要			科疾患を 所見の理			・理解し、柔道整復師	が臨床現場で注意を	払う必要があるも						
授業	目標	基礎医学	対知識を	もとに臨	床医学の	)基礎的知識の習	得を目標とする。								
成績割	平価法	中間試験	験、期ま	末試験、	出席状态	況等をもとに評	<b>戸価する。</b>								
実務	経験														
回数						授	業計画								
1			診察の意義、診察の進め方												
2			医療面接												
3															
4						:	打診								
5						]	聴診								
6						1	触診								
7						生	命徴候								
8						中	間試験								
9						感	覚検査								
10						反	射検査								
11						代表的	な臨床症状								
12						代表的	な臨床症状								
13						代表的	な臨床症状								
14						枸	<b>全</b> 查法								
15						期	末試験								

<b>11</b> 🗆	<b>□</b> /\	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌	山医療スポーツ専門	門学校						
科目	<b>区分</b>						柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語						
授業科	斗目名			一般臨月	F医学 II		担当教員名	未	定						
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次						
単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中						
授業	概要			科疾患を 所見の理			・理解し、柔道整復的	所が臨床現場で注意を	払う必要があるも						
授業	目標	基礎医学	対知識を	踏まえ、	個々の疫	<b></b> 長患を理解する。									
成績割	平価法	中間試験	<b>倹、</b> 期末	試験、出	席状況等	音をもとに評価す	~3.								
実務	経験														
回数						授	業計画								
1			呼吸器疾患												
2			呼吸器疾患												
3						循環	景器疾患								
4						循環	景器疾患								
5						消化	/器疾患								
6						消化	2器疾患								
7						中	間試験								
8						代	謝疾患								
9						内分	〉泌疾患								
10						血	液疾患								
11						泌房	器疾患								
12						神	経疾患								
13						愿	<b>蒸</b> 染症								
14						膠	<b></b>								
15						期	末試験								

利口	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌	山医療スポ	ポーツ専	門学校			
科目	四刀			(			<b></b>	道整復	颠	スポ゜ーツ	トレーナー		日本語	î 1	
授業科	斗目名			外科等	学概論		担	当教員	]名		尾野	光市			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	ζ	2年	次		3年次		
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期後期	期 集中	前期	後期	集中	
授業	概要	外科学概	既論を用	いて、講	義を実施	直する。									
授業	目標	臨床で出	出会う疾	病や処置	について	ご学習する。									
成績評	平価法	中間試	験、期詞	末試験を	もとに	評価する。									
実務	経験	なし													
回数							業計画								
1						損傷	易・熱傷	<b></b>							
2	外科的感染症														
3		腫瘍・ショック													
4						輸液	友・輸』	ÍI.							
5						消毒	章・手行	뒥							
6						麻酔・	移植・	免疫							
7						出血	1・止	ÍI.							
8						中	間試験								
9						心	肺蘇生								
10							脳								
11						呼吸	器、頚	部							
12						·Ľ	小脈管								
13						乳腺	、消化	器							
14						I.	1一、月	Ŧ							
15						期	末試験								

私口	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌口	山医療	スポーツ専門	門学校			
14日	区分						<b>柔</b> i	道整復	師	スオ	t° ーツトレーナー		日本語		
授業和	斗目名			整形外	科学 I		担	当教員	名		尾藤	可時夢			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>		2年次		3年次		
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期 集中	前期	後期 集中		
授業	概要					景に対して、柔道 Pすい整形外科学					5用して対応す	る能力	を身につけ		
授業	目標	整形外科	斗的疾患	について	説明がて	ごきる。									
成績討	平価法	期末試	験をもる	とに評価	iする。										
実務	経験	なし													
回数						授	業計画								
1					追	重動器の基礎知識	識、診	察法、	検査法	去					
2	検査法														
3		整形外科的治療法													
4						骨・関	節損傷	総論							
5						スポー	ツ整形	外科							
6						感菜	<del>と</del> 症疾患	4							
7						作	腫瘍								
8						中間記	、験、解	<b></b> 解説							
9						骨・関節疾	患(非	感染症	È)						
10						全身性の	骨・関係	節疾息	Ë						
11						作	端症								
12						四肢征	盾環障	害							
13						神経	・筋疾	患							
14						1	复習								
15						期末記	、験、解	<b>詳説</b>							

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌山	山医療ス	ポーツ専門	門学校		
1十日	区分						(柔)	直整復	師	スポ゜ー	ツトレーナー	E	日本語	
授業科	斗目名			関係	法規		担	当教員	名		味村	吉浩		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>	24	年次		3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期後	集中	前期	後期 集中	
授業	概要					る上で必要となる に関係した各種法					成り立ちに	はじま	り、柔道整	
授業	目標	柔道整復	夏師とし	て業務に	従事する	3上で知っておく	べき法	令を理	!解する	0				
			<b>倹、確認</b>	テスト、	課題の耳	又り組み状況や受	講態度	など、	総合的	に評価す	る。			
	経験	なし				les.	₩=1 →							
回数						授	業計画							
1						法	の体系							
2	柔道整復師の業とは													
3	柔道整復師免許について													
4					柔	<b>泛道整復師免許</b>	にかか	る各種	重手続き	<u> </u>				
5						柔道整復師国	家試験	につ	いて					
6						柔道整復師の	業務範	囲につ	ついて					
7						施術所	行につい	って						
8					2	れまでの復習、	、理解	度確認	思テス	<b>h</b>				
9						広告	につい	7						
10					柔道	重整復師法に定る	められ	る罰貝	川につい	って				
11					指	定登録機関と指	<b>定試</b> 駁	後関	につい	て				
12						医療従事者の	資格法	<b>まにつ</b>	いて					
13						医療法	<b>ミについ</b>	って						
14					社会福		の他の	関係	法規に	ついて				
15						期	末試験							

利日	豆厶	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌口	山医療スプ	ポーツ専	門学校		
件日	区分			(			<b>承</b>	道整復	師	スホ゜ーツ	トレーナー		日本語	
授業和	斗目名		衛	生学・2	公衆衛生	学	担	当教員	1名		野原	孝子		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>	2年	三次		3年次	
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期 後	期集中	前期	後期 3	集中
授業	概要					夏師として必要な 三行政機構や医療					対策および	で 食品律	5生にかえ	かる
授業	目標	医療従事	事者とし	て必要な	衛生・公	公衆衛生の知識を	身につ	ける。						
成績語	平価法	期末試	験を行い	、評価	iする。									
	経験	なし												
回数						授	業計画							
1						衛生学とは	t、WF	IO憲	章					
2	疾患、習慣病、予防の分類													
3	疾病予防、健康管理													
4						尼	染症							
5						ì	消毒							
6						環	竟衛生							
7						食中	毒、公	害						
8						中	間試験							
9						母子保健	1、学校	次保健						
10						産業保健	t、成 <i>/</i>	、保健						
11						老人保健、	、高齢	者保健	<u>#</u>					
12						精神保健	1、地域	成保健						
13					Ξ	国際保健、衛生征	行政と	保険图	医療制度	度				
14						医療の倫理、	安全の	確保、	疫学					
15						まとめ、	. 期末	試験						

4VI 🗆	III ハ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療	スポー	-ツ専門	門学校				
科目	区分						<b>承</b>	道整復師	スポ゜	ーツトレー	ーナー		日本語	Î.		
授業科	斗目名			医气	学史		担	当教員名			栗山	貴行				
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次	•		3年次			
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期 集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中		
授業	概要	医学の歴	<b></b> を史から	柔道整復	術の歴史	と現在										
授業	目標	柔道整復	夏師の歴	史につい	て習得し	/、現在の施術法	につい	て説明できる	0							
成績割	平価法	期末試	験と受詞	講態度を	総合的	に評価する。										
実務	経験	なし														
回数						授	業計画	:								
1						古代医学、ヒ	ポクラ	テスの誓い								
2			解剖学の歴史と発展 外科・麻酔の歴史													
3			外科・麻酔の歴史													
4			外科・麻酔の歴史 消毒の歴史													
5						近代細菌学、	公衆征	新生の歴史								
6						医療制	関度の記	<b></b>								
7						接骨医学	史、医	の倫理								
8						期末記	<b>大験、</b> 角	<b>军</b> 説								

科目	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌山	山医療スポー	-ツ専	門学校				
一	<b>四</b>						柔	道整復		スホ゜ーツトレ	ーナー		日本語			
授業科	斗目名			保健体育	育実技 I		担当	当教員	名	吉田幸平	、枠谷	隆平、	範菜々美			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次			3年次			
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期 後期	集中	前期	後期 集中			
授業	概要	受身、社る。	L法を習	得し、認	定実技額	<b>季査の形項目を体</b>	得する。	。また	、柔道	初段を目標に	し、投	技・寝	技を実施す			
授業	目標	試合審判	別規定や	投の形を	習得し、	実践できる。										
成績討	平価法	期末試	験をもる	とに評価	iする。											
実務	経験	なし														
回数						授	業計画									
1						礼法	5、受身	,								
2	投の形(手技)の復習、大腰 投の形(手技)の復習、背負投															
3		投の形(手技)の復習、背負投														
4		投の形 (手技) の復習、背負投 投の形 (手技) の復習、背負投														
5					投の	形(浮腰、払	腰)の征	复習、	約束刮	礼取						
6					投の	形(浮腰、払	腰)の征	复習、	約束刮	礼取						
7					投の	)形(浮腰、払	腰)の行	复習、	約束刮	礼取						
8						投の形(釣込	、腰)、	約束記	乱取							
9						投の形(釣込	、腰)、	約束記	乱取							
10						どの形(腰技)	のまとる	め、約	東乱耳	Íχ						
11					投の	)形(手技、腰	技)の行	复習、	約束刮	礼取						
12					投の	)形(手技、腰	技)の行	复習、	約束刮	礼取						
13					投の	)形(手技、腰	技)の行	复習、	約束刮	礼取						
14					投の	)形(手技、腰	技)の行	复習、	約束刮	礼取						
15						期	未試験									

<b>₹</b> √ □	<b>屋八</b>	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌』	山医療スポーツ専門	門学校							
件日	区分						柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語							
授業和	斗目名			保健体育	育実技 II		担当教員名	吉田幸平、枠谷	龍平、範菜々美							
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次							
単位	立数	2				授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中							
授業	概要	受身、礼る。	法を習	得し、認	定実技	客査の形項目を体	得する。また、柔道	初段を目標にし、投	対技・寝技を実施す							
授業	目標	試合審判	規定や	投の形を	習得し、	実践できる。										
成績語	平価法	期末試験	験をもる	とに評価	iする。											
実務	経験	なし														
回数						授	業計画									
1						礼法	E、受身									
2		投の形(手技、腰技)の復習、約束乱取 投の形(送足払)、約束乱取														
3		投の形(送足払)、約束乱取														
4		投の形 (送足払) 、約束乱取 投の形 (送足払) 、約束乱取														
5						投の形(支釣)	込足) 、約束乱取									
6						投の形(支釣)	込足)、約束乱取									
7						投の形(内)	投)、約束乱取									
8						投の形(内)	投)、約束乱取									
9						投の形(足技)	の復習、約束乱取	<u>,                                    </u>								
10					:	投の形(足技)	の復習、約束乱取	<u> </u>								
11					投の形	(手技、腰技、	足技)の復習、約	東乱取								
12					投の形	(手技、腰技、	足技)の復習、約	東乱取								
13					投の形	(手技、腰技、	足技)の復習、約	東乱取								
14					投の形	(手技、腰技、	足技)の復習、約	東乱取								
15						期	末試験									

4V 🗆	<b>戸</b> 八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療スポ	ーツ専	門学校					
科目	区分						<b>桑</b>	道整復師	スポ゜ーツト1	ノーナー		日本語				
授業科	斗目名			医療福	祉制度		担	当教員名		栗山	貴行					
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	2年》	欠		3年次	,			
単位	立数	2				授業時間数	前期	後期 集中	前期 後期	集中	前期	後期	集中			
授業	概要	医療福祉	止に関す	る制度を	学び、そ	この利点と問題点	を明ら	かにする。今	後の医療福祉	业制度の	をり方	「を考え	.る。			
授業	目標	医療福祉	止制度に	ついて説	明ができ	: Z.										
成績語	平価法	期末試	験をも。	とに評価	iする。											
実務	経験	なし														
回数						授	業計画									
1						社会位	保障と	は								
2			医療保険制度(目的と意義) 医療保険制度(保険診療の概要、財政の現状と課題)													
3			医療保険制度(保険診療の概要、財政の現状と課題)													
4		医療保険制度(保険診療の概要、財政の現状と課題) 医療保険制度(診療報酬制度)														
5						療養	費制度	Ę								
6						療養費制度(	柔道整	復療養費)								
7					療	養費制度(算定	、ケー	-ススタディ	)							
8						期	末試験									

日本語   日本語   日本語   日本語   日本語   表連整復学・総論   日本語   表連整復学・総論   日本語   投業形態   講義   演習   実技   実習   配修年次   日本次   2年次   3年次   2年次   3年次   2年次   2年次   3年次   2年次   2年次   3年次   2年次   2年次	利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌口	山医療	スポー	-ツ専門	門学校			
接来形態   講義   演費   実技   実習   展修年次   1年次   2年次   3年次   1年次   投票酬問数   1   投票酬問数   投票酬問数   投票   前期   投期   集中   前期   後期   集中   10   表示   表示   表示   表示   表示   表示   表示   表	14日	<b>四</b> 第					0	柔道整復	師	スホ	・。ーツトレ・	ーナー		日本語	i I	
単位数	授業和	斗目名		柔	道整復生	学・総論	ìΙ	担当教員	名			味村	吉浩			
投業概要	授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	<u> </u>		2年次	•		3年次		
投業目標	単位	立数	1				授業時間数	前期 後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
技楽日標	授業	概要	柔道整復	夏学の基	楚となる	総論、そ	その中でも骨折に	:関するものを	:学習す	<sup>-</sup> る。						
実務経験     あり (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)       回数     授業計画       1     人体に加わる力、箱みの基礎       2     骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類       3     骨折の症状       4     骨折の症状       5     骨折の合併症       6     骨折の合併症       7     復習、理解度確認試験       8     小児骨折、高齢者骨折       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	授業	目標							が損傷は	どのよ	こうにし	て起こ	るか、	また、	どの	
回数     接業計画       1     人体に加わる力、痛みの基礎       2     骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類       3     骨折の症状       4     骨折の症状       5     骨折の合併症       6     骨折の合併症       7     復習、理解度確認試験       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒に影響を与える囚子       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える囚子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	成績語	平価法	期末試験	<b>倹、確認</b>	テスト、	課題の耳	又り組み状況や受	<b>た講態度など、</b>	総合的	に評価	<b>がる。</b>					
1     人体に加わる力、痛みの基礎       2     骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類       3     骨折の症状       4     骨折の症状       5     骨折の合併症       6     骨折の合併症       7     復習、理解度確認試験       8     小児骨折、高齢者骨折       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	実務	経験	あり (	柔道整復	复施術所	におい		.,,								
2       骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の機説、骨損傷の分類         3       骨折の症状         4       骨折の症状         5       骨折の合併症         6       骨折の合併症         7       復習、理解度確認試験         8       小児骨折、高齢者骨折         9       小児骨折、高齢者骨折         10       骨折の癒合日数、骨折の治癒過程         11       骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子         12       治療法(骨折の整復法)と固定法         13       治療法(骨折の整復法)と固定法         14       復習、理解度確認試験	回数						授	業計画								
3     骨折の症状       4     骨折の症状       5     骨折の合併症       6     復習、理解度確認試験       7     後習、理解度確認試験       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	1						人体に加わる	力、痛みの	基礎							
4     骨折の症状       5     骨折の合併症       6     骨折の合併症       7     復習、理解度確認試験       8     小児骨折、高齢者骨折       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	2															
5       骨折の合併症         6       骨折の合併症         7       復習、理解度確認試験         8       小児骨折、高齢者骨折         9       小児骨折、高齢者骨折         10       骨折の癒合日数、骨折の治癒過程         11       骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子         12       治療法(骨折の整復法)と固定法         13       治療法(骨折の整復法)と固定法         14       復習、理解度確認試験	3															
6     骨折の合併症       7     復習、理解度確認試験       8     小児骨折、高齢者骨折       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	4						骨护	fの症状								
7     復習、理解度確認試験       8     小児骨折、高齢者骨折       9     小児骨折、高齢者骨折       10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	5						骨折	の合併症								
8       小児骨折、高齢者骨折         9       小児骨折、高齢者骨折         10       骨折の癒合日数、骨折の治癒過程         11       骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子         12       治療法(骨折の整復法)と固定法         13       治療法(骨折の整復法)と固定法         14       復習、理解度確認試験	6						骨折	の合併症								
9       小児骨折、高齢者骨折         10       骨折の癒合日数、骨折の治癒過程         11       骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子         12       治療法(骨折の整復法)と固定法         13       治療法(骨折の整復法)と固定法         14       復習、理解度確認試験	7						復習、理	解度確認試験	<b></b>							
10     骨折の癒合日数、骨折の治癒過程       11     骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子       12     治療法(骨折の整復法)と固定法       13     治療法(骨折の整復法)と固定法       14     復習、理解度確認試験	8						小児骨折	、高齢者骨排	ŕ							
11       骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子         12       治療法(骨折の整復法)と固定法         13       治療法(骨折の整復法)と固定法         14       復習、理解度確認試験	9						小児骨折	、高齢者骨抜	ŕ							
12     治療法 (骨折の整復法) と固定法       13     治療法 (骨折の整復法) と固定法       14     復習、理解度確認試験	10						骨折の癒合日数	女、骨折の治	癒過程	Į						
13 治療法(骨折の整復法)と固定法 14 復習、理解度確認試験	11					骨折の	予後と骨折の	治療に影響を	を与える	る因子						
14 復習、理解度確認試験	12					Š	治療法(骨折の	)整復法) と	固定法	<del>.</del>						
	13					Ş	治療法(骨折の	)整復法) と	固定法	÷						
15 期末試験	14						復習、理	解度確認試験	<b></b>							
	15						期	未試験								

私口	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌!	山医療	スポー	-ツ専門	門学校			
一十日	<b>四</b>					0	柔道整復	頭	スオ	·° ーツトレ·	ーナー		日本語	i i	
授業科	斗目名		柔	道整復生	営・総論	ì II	担当教員	名			栗山	貴行			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	ζ.		2年次			3年次		
単位	立数	1				授業時間数	前期 後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業	概要	専門分野	野である	柔道整復	学の成り	)立ち、人体の様	<b>靠造と機能を</b> 学	学習する	0 0						
授業	目標	柔道整復	复学総論	基礎分野	および阝	関係する人体の精	<b>持造と機能を</b> 習	引得する	0 0						
成績評	平価法	定期試	験と受詞	構態度を	総合的	に評価する。									
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	におい	て柔道整復師と	こして勤務)								
回数							業計画								
1			オリ	エンテ	ーション	⁄、授業進行に	ついて、人体	本解剖4	学専門	用語に	こついて	<u> </u>			
2	関節の損傷(捻挫・脱臼)、関節の構造について 関節の構造について														
3		関節の構造について													
4		関節の構造について 関節損傷の分類について													
5						鑑別診断を要	する類症につ	ついて							
6						脱臼とはなに	かを学習につ	ついて							
7						脱臼の名	}類について								
8						中間確認試験	食、振り返り	授業							
9						脱臼の分	<b>分類について</b>								
10						脱臼の症	宦状について								
11						脱臼の症状と	合併症につ	いて							
12				脱的	日の整復	夏障害について	脱臼の経過		 後につ	いて					
13				脱的	日の整復	夏障害について	脱臼の経過	ー 過と予行	ー 後につ	いて					
14						前期のま	ミとめと復習								
15						前期のまと	どめと期末試	験				_			

科目	区公	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌	山医療	スポー	-ツ専	門学校			
17 H	<u> </u>					0	柔道整復	飹	スオ	<sup>ト°</sup> ーツトレ	ーナー		日本語	1	
授業科	斗目名		柔	道整復生	学・総論	ìШ	担当教員	1名			谷口	佳奈美	Ę		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位	立数	1				授業時間数	前期後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業	概要	柔道整復	复師が遭	遇する軟	部組織排	員傷の総論につい	って学習する。								
授業	目標	軟部組織	戦損傷の	総論につ	いて説明	月ができる。									
成績割	平価法	定期試	験と受詞	構態度を	·総合的	に評価する。									
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	たおい	て柔道整復師る	として勤務)								
回数						授	業計画								
1				オリエ	ンテー	ション、授業道	<b>進行について</b>	、関節	5損傷に	こつい	7				
2		関節の損傷(捻挫・脱臼)、関節の構造について 関節損傷の分類について													
3															
4						靱帯の治療	<b>癒機序につい</b>	て							
5					J	、体の損傷とそ	の予後経過に	こつい	7						
6					軟骨損	員傷の分類、合	併症、治癒榜	幾序に <sup>、</sup>	ついて						
7						筋の損	傷について								
8						中間語	式験、解説								
9						筋の構	造について								
10				筋損	傷につ	いて(概説、タ	分類、症状、	治癒機	 終序、-	予後)					
11				腱損	傷につ	いて(概説、タ	分類、症状、	治癒機	 終序、∃	予後)					
12				末梢神紅	圣損傷に	こついて(概説	、分類、症状	 犬、治		 、予後	<b>€</b> )				
13				末梢神絹	圣損傷に	こついて(概説	、分類、症状	犬、治	<u></u> 癒機序	、予後	<b>(</b> )				
14						前期の言	まとめと復習								
15						前期の記	まとめと復習								

3/1 H		基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌!	山医療スポー	ツ専門	門学校				
	区分					0	柔道整復	夏師	スポ゜ーツトレー	ナー		日本語	i		
授業和	4目名		柔	道整復常	学・各論	ì I	担当教員	名	月	<b></b> 尾藤	何時夢	ij.			
	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
	立数	2		7 7 7 7		授業時間数	前期 後期		前期後期	 集中		後期			
											,				
授業	概要	柔道整復	复学理論	について	総論骨割	f部門の復習と各	論上肢骨折に	こついて							
授業	目標	自由上版	支骨折の	概要、分	類、発生	<b>上機序、症状、</b> 治	<b>涂療法、合併</b> 症	定につい	って理解する						
成績詞	評価法	中間試	験45%、	期末記	<b>試験45%</b>	、授業への取組	110%								
	. / IF A	2 2 4		<b></b> 11 . 15= →	•		,								
	経験	あり (	柔道整征	夏施術所	におい	て柔道整復師と									
回数	1日、4日 6州	JT 0) . Y	<b>/</b> (風井		血ル・/右3		業計画								
1 2		についる		T総 舗 至	版を復行	<i>当)</i> 									
3				名 概更	分粨										
4		鎖骨骨折の機能解剖学、概要、分類 鎖骨骨折の発生機序、症状、治療法、合併症 胃甲骨骨折の機能解剖学、概要、分類、症状、治療法、合併症													
5		<b>肩甲骨骨折の機能解剖学、概要、分類、症状、治療法、合併症</b>													
6		同甲骨骨折の機能解剖学、概要、分類、症状、治療法、合併症 上腕骨骨頭および解剖頸骨折、分類、概要、発生機序、症状等													
7															
8	外科頸	骨折				症状、治療法									
9	上腕骨	骨幹部	骨折の分	類、概	要、発	生機序、症状、	治療法、合	併症に	ついて						
10	上腕骨	遠位端語	部骨折の	分類	顆上骨:	折の分類、概要	について								
11	顆上骨	折の発生	生機序、	症状、	治療法、	合併症につい	て①								
12	顆上骨	折の発生	生機序、	症状、	治療法、	合併症につい	て②								
13	外顆の	分類、	既要、乳	色生機序	、症状、	治療法、合併	症について(	1							
14			類、概要	更、発生	機序、	定状、治療法、	合併症につ	いて							
15	中間試														
16		近位端语				骨折の概説〜治	·								
17		近位端				骨折の概説〜治									
18						骨折の概説〜治									
19						升の概説〜治療 エフミス県长		房辻ユ							
20						折・スミス骨折 ネケ治療法	の概説~冶	原法ま	C.						
21 22						えて治療法 ショウファー骨	·圻								
23						発生機序、症		合併	症について						
24						の分類、概要、				作症に	ついて				
25						。 「、概要、発生 が表									
26						、 概要、 発生相 、 概要、 発生相									
27	指骨骨					光生機序、症状									
	指骨骨		中節骨			<del></del>									
	指骨骨		末節骨	分類、	概要、		、治療法、	合併症	について						
30	期末試	験													

<b>4</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F /\	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ専門	<b>門学校</b>					
科目	区分					0	柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語					
授業和	斗目名		柔	道整復生	学・総論	įΙV	担当教員名	尾藤何時夢	、範菜々美					
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次					
単位	立数		2			授業時間数	前期後期集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中					
授業	概要	柔道整復う。	复学・実	技編(改	訂第2版	反)及びテキスト	、作成資料を使用し	、実技および実技に	関する理論を行					
授業	目標	柔道整征	复実技の	基礎を習	得する。									
成績語	平価法	期末試	験80%、	平常点	(出席)	含む)10%								
宝務	経験	尾藤何	時夢(ま	あり/柔	道整復	施術所において	て柔道整復師として	勤務)						
大切	小主 <i>河</i> 欠	範菜々	美(あり	) / 柔道	整復施行	術所において柔	&道整復師として勤	務)						
回数							業計画							
1					柔道整		人後、柔整手技)に	ついて						
2							の理論と種類							
3 4	柔整手技の方法①軽擦法         柔整手技の方法 ②強擦法         柔整手技の方法 ③揉捏法													
5	柔整手技の方法 ③揉捏法													
6														
7							⑤振戦法、圧迫法	<u></u>						
8						アルフェン	/ス作成(指)							
9						アルフェン	スの活用(指)							
10						プライトン	作成(手関節)							
11							)活用(手関節)							
12							ト作成(下腿部)							
13							ト作成(下腿部)							
14 15							ト活用(下腿部) とめ、実技試験							
16							での種類、効果							
17							到学、足関節捻挫 第剖学、足関節捻挫							
18							基本のテーピング							
19						足関節捻挫の	基本のテーピング							
20						足関節捻挫の	基本のテーピング							
21						足関節捻挫の	基本のテーピング							
22							中間試験							
23							膝関節内側側副靱							
24							関帯損傷のテーピン 							
25					膝		別帯損傷のテーピン 	<u>グ</u>						
26					kt		十字靭帯損傷	÷*						
27							帯損傷のテーピンク 帯損傷のテーピンク							
29							市損傷のテーピンク 帯損傷のテーピンク							
30					/14		期末試験							
0.0	I					i> □ \	7741 1 PR 1925							

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌口	山医療スポー	ーツ専門	門学校				
	区分					0	柔道整復師	スポ゜ーツトレ	ーナー	日本語				
授業和	斗目名		柔	道整復气	学・総論	ìV	担当教員名		範	菜々美				
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	Z	3年次				
単位	立数		1			授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期	集中	前期後期集	中			
授業	概要						道整復学・実技編(ē 『の定着を確認する。	改訂第2版)、	解剖学	牟(改訂第2版)を	使			
授業	目標	前期で	学習した	た骨折総	論の知	識をもとに、上	上肢带~上腕骨近位	部骨折につ	いて説	明ができる。				
成績詞	平価法	中間試	験、期末	に試験を	もとに	評価する。								
実務	経験	あり (	柔道整復	夏施術所	におい	て柔道整復師と	:して勤務)							
回数							業計画							
1						骨折終	論の復習							
2	上肢帯の機能解剖学 鎖骨骨折 (概説、合併症、鑑別診断)													
3	鎖骨骨折(概説、合併症、鑑別診断)													
4	鎖骨骨折(概説、合併症、鑑別診断) 鎖骨骨折(整復法、固定法、後療法)													
5						肩甲	3骨骨折							
6						上腕骨	解剖頚骨折							
7						,	復習							
8						中間記	<b>【験、解説</b>							
9						上肢の	幾能解剖学							
10					上腕骨	外科頚骨折(概	税、合併症、鑑別	診断)						
11					上腕骨	外科頚骨折(鏨	<b>荃</b> 復法、固定法、後	療法)						
12						上腕骨外科	頚骨折のまとめ							
13				上腕骨之	大結節骨	<b>计</b> 折、上腕骨小;	結節骨折、上腕骨並	近位骨端線离	<b>作開</b>					
14						-	復習							
15						期	未試験							

利日	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌山	山医療	スポー	-ツ専門	門学校			
17 H	<u> </u>					0	柔道整復		スホ	゜ーツトレー	ーナー		日本語	Î	
授業科	斗目名		基	基礎柔道	整復学	I	担当教員	名	F	≧藤 →	何時夢	、範	菜々	美	
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次	,		3年次		
単位	立数		1			授業時間数	前期後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業	概要	施術所等	<b>等で起こ</b>	りうる疾	病につい	っての救急医学を	<b>注</b> 学習する。								
授業	目標	日赤救急	急法救急	員の資格	取得を目	目標に救急医学を	学習する。								
成績語	平価法	期末試	験、受詞	構態度を	総合的	に評価する。									
実務	経験					施術所において 術所において柔									
回数						授	業計画								
1	包帯法、検脈包帯法、止血														
2															
3	骨折固定法														
4						骨护	f固定法 								
5						挽	设送法								
6						挽	设送法								
7						心肺	<b>苏生法</b>								
8						心肺	<b>苏生法</b>								
9						AED	)使用方法								
10						救急処置	置の基本事項								
11						事故発生時の	)フローチャ・	ート 							
12						RIC	CE処置								
13						ショッ	ク時の対応								
14						;	復習								
15						期	末試験								

科目区分 授業科目 授業形息					_									
授業形態	1名				0	(柔:	道整復	師	スポ	゜ーツトレー	ーナー		日本語	1
		基	基礎柔道	整復学	II	担	当教員	1名			谷口	佳奈美	美	
	態講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	;		2年次			3年次	
単位数	女	1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	要現場では	必要とな	る各年代	の特徴や	や代表的な疾患に	ついて	学習し	、運動	が指導な	どの実	ぼ技を行	ゔ゙ゔ。		
授業目標	標 各年代	こ合わせ)	た運動指	導ができ	きるようになる。									
成績評価	五法 期末試	験と受詞	構態度を	総合的	に評価する。									
実務経験	験あり(	柔道整復	复施術所	におい	て柔道整復師と		游務)							
回数					授	業計画								
1					発達と	老化の	理解							
2	発達と老化の理解      認知症について													
3	認知症について													
4					介護	保険制	度							
5					高齢者	介護と	ICF							
6					福祉用	具や車	椅子							
7					機能訓練	(準備	運動)							
8				機能	訓練(上肢・体	幹のス	ベトレ	ッチン	(グ)					
9				榜	と	のスト	レッチ	・ング	)					
10					機能訓練(体	幹筋力	増強訓	練)						
11					機能訓練(上)	肢筋力	増強訓	練)						
12					機能訓練(下)	肢筋力	増強訓	練)						
13				機能	訓練(簡単な器		引いて	行う追	重動)					
14					前其	月の復習	된 1							
15					前期の復	習、期	末試験	<b></b>						

科目区2	T -									-ツ専門					
授業科目					0	柔道整	復師	スオ	t <sup>°</sup> ーツトレ	ーナー		日本語	î 1		
	1名	柔	道整復常	学・各論	ìΙΙ	担当教	(員名			味村	吉浩				
授業形態	態 講義	演習	実技	実習	履修年次	1年	次		2年次			3年次			
単位数	文 1				授業時間数	前期後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中		
授業概	要				fについて、どの 治療を進めていく			fが起こ	こるか、	どのよ	うな症	巨状にな	3		
授業目標	標 各傷病	の特徴を	理解して	、臨床で	で遭遇する傷病に	対応できる	知識を身	すにつり	ける。						
成績評価	西法 受講態	度、小き	テスト、	中間試	験、期末試験お	よび課題	の提出物	犬況等	をもっ	て総合	·的に評	平価する	3.		
実務経	験 あり (	柔道整征	复施術所	におい	て柔道整復師と		)								
回数					授	業計画									
1	前腕骨近位端部骨折 														
2	肘頭骨折														
3		が 與 有 が 株骨 骨 幹 部 骨 折													
4					ガレアジ骨折	・尺骨骨幹	幹部骨折								
5					モンテ	ギア骨折									
6					橈・尺両′	骨骨幹部們	折								
7					橈骨遠(	立端部骨护	ŕ								
8					中間試験、梼	骨遠位端	部骨折								
9					舟状	常骨折									
10				三	角骨骨折・有鈎	骨骨折・	豆状骨骨	折							
11				4	9手骨骨頭部骨	折・中手骨	頸部骨	折							
12				4	手骨骨幹部骨	折・中手骨	基部骨	折							
13					指 <sup>,</sup>	骨骨折									
14					指	骨骨折									
15					期	末試験									

彩日	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌口	山医療スポー	ーツ専門	門学校			
770	<u> </u>					0	<b></b>	道整復	師	スポ゜ーツトレ	ーナー		日本語	Î.	
授業和	斗目名		柔:	道整復生	学・各論	ìIII	担	当教員	1名		味村	吉浩			
	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	Т	2年次	T		3年次		
単位	立数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期 後期	集中	前期	後期	集中	
授業	概要	外傷(ど	ナが) と	して起こ	る脱臼の	うち、股関節か	ら足指	関節ま	での下	∫肢に生じるも	のにつ	いて学	習する	•	
授業	目標	下肢に走する。	己こる脱	臼はどの	ような原	原因で、まだどの	ように	して起	己こるが	に始まり、見	見極め方	で治療	方法を	理解	
成績詞	平価法	期末試験	食、確認	テスト、	課題の耶	又り組み状況や受	意講態度	など、	総合的	に評価する。					
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	fにおい	て柔道整復師と	して貰	勤務)							
回数						授	業計画								
1		脱臼の基礎 													
2															
3		股関即脱臼の概要 													
4					発	<b>性頻度が高い</b>	股関節	脱臼。	D治療剂	去					
5						その他の	)股関領	<b></b>							
6						膝蓋骨	脱臼の	概要							
7						膝蓋骨脱臼	の症状	や治療	·						
8					2	れまでの復習	、理解	度確認	忍テス	<b>F</b>					
9						膝関節	脱臼の	概要							
10						膝関節脱臼の	発生原	見と	症状						
11						足部の	脱臼の	概要							
12						足部の脱臼	の症状	や治療	療法						
13						足指関節	ñ脱臼 <i>0</i>	D概要							
14						足指関節脱臼	日の症状	犬や治	療法						
15						期	末試験								

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌口	山医療	スポー	-ツ専門	門学校		
14日	区分					0	<b>承</b>	直整復	師	スオ	・。ーツトレ・	ーナー		日本語	
授業科	斗目名		柔	道整復生	学・各論	iV	担	当教員	自名			味村	吉浩		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>		2年次	•		3年次	
単位	立数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	柔道整復	复施術に	携わる上	で必要と	なる各種画像の	観察手	法につ	いて学	<u>ک</u> ړ.					
授業	目標	単純X線	<b>!</b> 像、超音	音波画像、	、CT画值	象およびMRI画像	えについ	て、観	見察の手	手順や見	見方をマ	アスター	・する。		
成績評	平価法	受講態原	复、小テ.	スト、中	間試験、	期末試験および	課題提	出状沉	しをもっ	て総合	的に判	断する	0		
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	におい	て柔道整復師と	して勤	務)							
回数						授	業計画								
1					-	各画像の成り立	ちや特	辞徴に	ついて						
2		肩部の画像診断①													
3						肩部の	画像診	新②							
4						肘部の	画像診	新①							
5						肘部の	画像診	新②							
6						手部の	画像診	新①							
7						手部の	画像診	新②							
8						中間試験、	指の画	像診	断						
9						体幹部	の画像	診断							
10						股部の	画像影	鯵断							
11						膝部の	画像診	新①							
12						膝部の	画像診	新②							
13						足部の	画像影	》断							
14						その他	の画像	診断							
15						期	末試験								

전 F F A	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌	山医療スポーツ専	門学校									
科目区分			0	柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語									
授業科目名	柔	道整復学・各論	ìV	担当教員名	範	菜々美									
授業形態	講義演習	実技 実習	履修年次	1年次	2年次	3年次									
単位数	2		授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中									
授業概要				道整復学・実技編( <sup>ど</sup> 習の定着を確認する		学(改訂第2版)を									
授業目標	体幹~上肢の軟	部組織損傷につい	って理解し、説明	月ができる。											
成績評価法	中間試験、期別	末試験をもとに	評価する。												
実務経験	あり(柔道整征	复施術所におい	て柔道整復師と	して勤務)											
回数			授	業計画											
1		頭	部の機能解剖学	生、頭部・顔面部打	撲										
2	顎関節症、外傷性顎関節損傷(顎関節捻挫) 頚部の機能解剖学、外傷性頚部症候群(むちうち損傷)														
3															
4	外傷性頚部症候群(むちうち損傷)														
5															
6			胸郭出口症	巨候群、寝違え											
7				<b>【験、解説</b>											
8		7. 7.2.	D2 11 11 11 1 1 1	胸肋関節損傷、肋門	4,										
9				背部の軟部組織損債	复 勿										
10				大部組織損傷 大部組織担傷											
11				大部組織損傷 密或監禁 Patterness											
12		四井七六		解剖学、腱板断裂 ンピンジメント症	· /근 귀쏫										
13		<b>朋</b> 是们又1			11矢杆										
14				   対、期末試験 											
16		投球陪宝百 (z		SLAP損傷、リト <i>/</i>	レルーガー戸)										
17				五十肩(凍結肩)											
18				<u>五十月(水相月)</u> と、肘関節側副靱帯	 :指傷										
19		73 123.		、テニス肘	15/1/24										
20				変形性肘関節症											
21		前腕の機		腕コンパートメン	ト 症候群										
22			中間討	<b>【験、解説</b>											
23		腱交	叉症候群、末梢		経)										
24		末	梢神経障害(栲	<b>善</b> <b>唐</b>	(1)										
25	手関節の	機能解剖学、三	三角線維軟骨複	合体損傷(TFCC打	員傷)、ド・ケル	バン病									
26	手机	艮管症候群、ギ	ヨン管症候群、	キーンベック病、	マーデルング変形	<i>(</i> ,									
27	手	部・手指の機能	<b>泛解剖学、指側</b>	副靱帯損傷、ロッ	キングフィンガー										
28			ばね指、	手指の変形											
29			1	復習											
30			講義のまと	め、期末試験											

科目	反厶	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和歌	山医療スポー	-ツ専	門学校				
/ 	四月					0	柔道整復	夏師	スポ゜ーツトレー	ーナー		日本語	i		
授業科	料目名		柔	道整復常	学・各論	ìVI	担当教員	]名		範	菜々美				
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	ζ	2年次	•		3年次			
単位	拉数	1				授業時間数	前期 後期	集中	前期後期	集中	前期	後期	集中		
授業	概要	柔道整御用し行う		論編 (改	訂第7版	:南江堂)、柔	道整復学・実	技編(	改訂第2版)、	解剖学	ど (改訂	「第2版)	を使 		
授業	目標	1年次で	で学習し	た内容に	ついて、	更に理解を深め	学習の定着を	と目指す	0						
成績評	平価法	中間試	験、期ラ	<b>ド試験</b> を	さもとに	評価する。									
	経験	あり (	柔道整征	复施術所	fにおい	て柔道整復師と									
回数						授	業計画								
1		骨折総論の問題演習 													
2															
3		<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>													
4					肩関節	5の機能解剖学、	、肩関節脱臼	日の問	題演習						
5					肘関節	うの機能解剖学、	、肘関節脱臼	日の問題	題演習						
6				手関係	節・手指	<b>もの機能解剖学、</b>	、手関節・	手指脱	臼の問題演習	ਬ ਜ					
7						í	復習								
8						中間記	、解說								
9				-	下肢の機	<b>能解剖学、大</b> 原	退骨近位部件	骨折の	問題演習						
10				-	下肢の機	<b>能解剖学、大</b> 原	退骨骨幹部	骨折の	問題演習						
11				-	下肢の機	後能解剖学、大阪	退骨遠位部骨	骨折の	問題演習						
12					下肢	の機能解剖学、	下腿骨骨折	の問題	<b>夏演習</b>						
13					下朋	ちの機能解剖学、	、足部骨折の	の問題	演習						
14						í	复習								
15						期末記	<b>、解説</b>								

<b>₹</b> / □	II ハ	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌山	山医療スポー	-ツ専門	門学校		
科日	区分					0	<b>承</b>	道整復	師	スポ゜ーツトレ-	ナー	日本	<b>、語</b>	
授業科	斗目名		柔	道整復生	学・各論	ìVII	担	当教員	1名		味村	吉浩		
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>	2年次		3年	次	
単位	立数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期 後期	集中	前期 後期	期 集中	
授業	概要	臨床現場	易で遭遇	する機会	の多いタ	ト傷を中心に、理	!論と実	際の両	i面につ	いて知識を深	める。			
授業	目標				:の多いタ 身につり	ト傷の観察にはじ ける。	まり、	損傷部	が位や程	度の見分け方	など現	場において	で必要と	
成績評	平価法	受講態度	度、小テ	スト、中	間試験、	期末試験および	課題提	出状汤	しなどを	総合的に評価	iする。			
	経験	あり(	柔道整征	复施術所	におい	て柔道整復師と		<u>——</u> 劫務)						
回数						授	業計画							
1		鎖骨骨折												
2		上腕骨近位端部骨折												
3		上腕骨近位端部骨折												
4						肩鎖	関節脱	臼						
5						肘関	<b>育節脱</b> 臼	1						
6						橈骨遠	位端部·	骨折						
7						手框	具骨骨折	ŕ						
8						中間試験、	、手指 <sup>·</sup>	骨骨护	Í					
9						頸部および肩	部の軟	部組締	裁損傷					
10						肘部および手	部の軟	部組締	战損傷					
11						腰部および股	部の軟	部組織	战損傷					
12						膝部および足	部の軟	部組締	战損傷					
13						足関節	5部の信	折						
14						総	後習							
15	_					期	末試験							

科目	区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌	山医療スポー	-ツ専	門学校			
770	<u> </u>					0	<b>柔</b>	道整復	師	スポ゜ーツトレー	ーナー		日本語	1	
授業科	料目名			臨床流	宜習 I		担	当教員	1名	尾藤何時夢	京、味材	寸吉浩	、範菜	巨々美	
授業		講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	_	2年次	1		3年次		
単位	立数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期 後期	集中	前期	後期	集中	
授業	概要	興味のあ	ある分野	・内容の	先行研究	ピを調べ、計測お	よびデ	ータの	収集、	発表資料の作	成を行	<sup>-</sup> う。			
授業	目標	学会発表	長を目標	にグルー	プで協力	)して取り組む。									
成績評	平価法	グルー	プワーク	ウ時の取	り組み、	、発表内容									
実務	経験	尾藤何	時夢・『	未村吉浩	・範菜	々美(あり/柔	全道整復	复施術	所にま	3いて柔道整	復師と	して萬	游務)		
回数						授	業計画								
1		研究の目的 													
2		論文の構成													
3						論文	検索方	法							
4						機材の	使用力	方法							
5						テー	マの選	定							
6						先行	研究検	索							
7						先行	研究検	索							
8						測定プロ	トコル	の作品	ţ						
9						測定プロ	トコル	の作品							
10						測定プロ	トコル	の作品	<u></u>						
11						測定プロ	トコル	ー の作原 							
12						測定	どの実施	色							
13						測定	どの実施	包							
14						測定	どの実施	——— 包							
15						測定	どの実施	色							

利日	<b>豆</b> 厶	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌	山医療	スポー	-ツ専門	門学校		
科目	丛 <i>汀</i> ———					0	<b>柔</b>	道整復	師	スオ	・。ーツトレー	ーナー		日本語	
授業科	目名			臨床海	囯II 智貞		担	当教員	自名	尾藤	何時夢	亨、味村	寸吉浩	、範菜/	々美
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	<u> </u>		2年次	•		3年次	
単位	拉数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業	概要	興味のあ	ある分野	・内容の	先行研究	ピを調べ、計測お	よびデ	ータの	収集、	発表資	<b>資料の作</b>	⋷成を行	<sup>÷</sup> う。		
授業	目標	学会発表	長を目標	にグルー	プで協力	刀して取り組む。									
成績評	呼価法	グルー	プワーク	ウ時の取	り組み	、発表内容									
実務	経験	尾藤何	時夢・『	未村吉浩	・範菜	々美(あり/柔	2.	夏施術	所にお	3いて	柔道整	復師と	して勤	<b>协務)</b>	
回数							業計画								
1		測定結果集計、統計処理  測定結果集計、統計処理  測定結果集計、統計処理													
2		測定結果集計、統計処理													
3		中間発表資料作成													
4						中間発	表資料	作成							
5						中	間発表								
6						測定プロ	トコル	の再考	Ž J						
7						測定プロ	トコル	の再考	ź						
8						測定	どの実施	<u>ti</u>							
9						測定	どの実施	<u>ti</u>							
10						測定	どの実施	<u>ti</u>							
11						測定	どの実施	<u>ti</u>							
12						測定	どの実施	<u>ti</u>							
13						測定結果集	計、紛	· 計処	理						
14						測定結果集	計、紛	<b>於計処</b>	理						
15						測定結果集	計、紛	<b>於計処</b>	理						

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			和歌	山医療	スポー	-ツ専門	門学校		
科目	区分					0	<b>柔</b>	道整復	師	スオ	・。ーツトレー	ーナー		日本語	
授業科	斗目名			臨床海	寅習Ⅲ		担	当教員	名	尾藤	何時夢	亨、味村	寸吉浩	、範菜々	美
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	· ·		2年次			3年次	
単位	立数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期 集	中
授業	概要	興味のな	ある分野	・内容の	先行研究	Eを調べ、計測お	ょよびデ	・ータの	収集、	発表資	資料の作	⋷成を行	·ð。		
授業	目標	学会発表	長を目標	にグルー	プで協力	刀して取り組む。									
成績評	平価法	グルー	プワーク	ウ時の取	り組み	、発表内容									
実務	経験	尾藤何	時夢・『	未村吉浩 ————————————————————————————————————	・範菜	々美(あり/柔	<b>全道整</b> 征	复施術	所にお	3いて	柔道整	復師と	して勤	)務)	
回数							業計画								
1		発表用PowerPoint・論文作成 発表用PowerPoint・論文作成													
2						発表用Power	Point	・論文	作成						
3						発表用Power	Point	・論文	作成						
4						発表用Power	Point	・論文	作成						
5						発表用Power	Point	・論文	作成						
6						発表用Power	Point	・論文	作成						
7						発表リ	ハーサ	ナル							
8						発表リ	ハーţ	ナル							
9						発表リ	ハーナ	ナル							
10						発表リ	ハーナ	ナル							
11						発表リ	ハーサ	ナル							
12						近畿学術	<b>5大会</b>	発表							
13						近畿学術	<b>5大会</b>	発表							
14						近畿学術	<b>5大会</b>	発表							
15						近畿学術	5大会	発表							

<b>1</b> √1 □		基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌!	山医療スポー	·ッ専	門学校		
科目	区分					0	柔道整復師	スホ゜ーツトレー	ナー		日本語	
授業和	科目名		<b>7</b>	足道整復	学実技	I	担当教員名	)	尾藤	何時夢	Ė.	
	 美形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次			3年次	
	立数			2	, , ,	授業時間数	前期 後期 集中		集中	前期	1	 集中
								100777	>10 1	1447743	154777	
授業	<b>美概要</b>	包帯固定	定法の基	礎を学ひ	、包帯區	固定法の実技授業						
授業	自標	包帯固定	定法の実	技力を身	につける	ると共に包帯理論	<b>命について理解する</b>					
成績	評価法	授業態	度と取締	且20%、	中間試	験30%、期末詞	式験50%(中間、其	月末ともに実	技能力	」とする	3)	
実務	S経験	あり (	柔道整復	复施術所	におい	て柔道整復師と	こして勤務)					
回数						授	業計画					
1		名称と										
2			類と実技									
3			行帯の第									
4			帯の実技									
5			帯の実持	文								
6 7		の実技	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	壮								
8			と集合)									
9		(14-1/14				 に麦穂帯(上行	で の 実技					
10						こ麦穂帯(上)						
11			<u>- / 3/13</u> の応用(3			きしたい)の実						
12			の応用④			全指帯、総指						
13	包帯法	各部へ	の応用の	足関	節への	麦穂帯						
14	三角巾	包帯固定	定法の第	<b>尾技</b>								
15	中間実	技試験										
16	包帯と	硬性固定	定材料を	を用いた	固定法。	の実技① アル	·フエンス					
17							イトン①					
18							イトン②					
19					固定法	の実技④ キャ	・ストライト					
20			した固気 		1. Æ III ·	<del>+</del> ++-(1)						
21			しご状)									
22			しご状)			天坟(4)						
23			編 股队 編 肩队									
25	_	帯応用統		上肢関								
$\frac{23}{26}$						·						
27						上肢基本包带	 F、足関節の使用)					
28							た、足関節の使用)					
29							デ、足関節の使用) ・					
30	実技試					· · · · ·	· · · · · ·					

利日	豆八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌[	山医療スポー	-ツ専	門学校					
科目 	<b>四</b> 万					0	柔道整復師	スポ゜ーツトレー	ーナー	日本語					
授業科	斗目名			柔道整征	复実技 II		担当教員名		栗山	貴行					
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次		3年次					
単位	立数			1		授業時間数	前期 後期 集中	前期 後期	集中	前期 後期 集中					
授業	概要	柔道整復 学習する		務内容に	ついて学	ዸ習する。骨折・	脱臼・捻挫・打撲・	挫傷への診察	<b>、</b> 処置	は、留意点について					
授業	目標	柔道整復	复師が遭	遇する外	傷につい	<b>いて適切な対応</b> が	できる。								
成績評	平価法	定期試	験および	<b>ド受講態</b>	度を総合	合的に評価する	0 0								
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	「におい	て柔道整復師と	して勤務)								
回数						授	業計画								
1	柔道整復術														
2		損傷の診察~固定法													
3						整復・固定	後の確認~予後								
4						鎖骨骨	·折 講義								
5						鎖骨骨	·折 実技								
6					上腕骨	外科頚骨折~上	:腕骨内側上顆骨折	座学							
7					上腕骨	外科頚骨折~上	上腕骨内側上顆骨折	実技							
8					橈傦	近位端部骨折。	~ベネット骨折 月	<b></b> 室学							
9					橈冐	近位端部骨折。	~ベネット骨折 🦠	<b>実技</b>							
10					中	手骨骨幹部骨折	f~中節骨骨折 座	学							
11					中	手骨骨幹部骨折	f~中節骨骨折 実	技							
12						上肢の	脱臼 座学								
13						上肢の	脱臼 実技								
14						軟部	組織損傷								
15						期末記	<b>【験、解説</b>								

A1 11	<u></u> г.	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		和哥	大山医療スポー	-ツ専	門学校			
科目	区分					0	<b>承</b>	道整復師	スポ゜ーツトレー	ナー		日本語		
授業科	斗目名		3	<b></b>	学実技」	III	担	当教員名		栗山	貴行			
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次	2年次	•		3年次		
単位	立数			2		授業時間数	前期	後期 集中	前期後期	集中	前期	後期 集中		
授業	概要	認定実持	支審査に	向けて、	該当項目	目の診察および鏨	を復法・	固定法を学	習し、実践する	<b>5</b> .		·		
授業	目標	認定実技	支審査に	該当する	項目の記	<b>参察および整復活</b>	<b>Է・</b> 固定	<b>ご法について</b>	説明ができ、浄	実践する	ることカ	ぶできる。		
成績評	平価法	定期試	験と受詞	構態度を	総合的	に評価する。								
実務	経験	あり (	柔道整征	复施術所	におい	て柔道整復師と	して勤	勤務)						
回数						授	業計画							
1					認	定実技審査の訪	胡、翁	鎖骨骨折の	診察					
2	鎖骨骨折の整復・固定 上腕骨外科箱外転型骨折の診察・整復													
3	上腕骨骨幹部骨折の診察・整復													
4	上腕骨骨幹部骨折の診察・固定													
5						コーレス骨	折の診	察・整復						
6						コーレス骨								
7			第 5 -	中手骨頚	部骨折	の診察・固定、			<b>肾側脱臼の診</b> 察	察・固	定			
8						肩鎖関節脱 三W問節脱								
9						肩鎖関節脱			7/年					
10						「関節前方烏口」 「関節前方烏口」								
12					/F									
13														
14							力障							
15								<b>军</b> 説						
16						下腿骨骨幹部·								
17						肋骨骨折								
18				腱板損	傷の診	<del></del> 察・検査、上版			傷の診察・検査	査				
19				ムスト	リングフ	ス 損傷の診察・	検査、	大腿四頭角	5打撲の診察・	検査				
20					J	膝関節側副靱帯	持損傷の	の診察・検	査					
21						膝関節側副	靱帯損	傷の固定						
22						膝関節側副	靱帯損	傷の固定						
23					月	<b>膝管背う十字靱</b>	帯損傷	の診察・核	查					
24						膝関節半月板	損傷の	診察・検査	Ė					
25				下腿三	頭筋損	傷の診察・検査	i、ア	キレス腱断	製の診察・固定	定				
26						アレスけん圏	「裂の記	参察・固定						
27					足	関節外側側副勒								
28						足関節外側側		損傷の固定	<u> </u>					
29							復習							
30						期末記	<b>、験、</b> 角	<b></b>						

科目	<b>反</b>	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ専門	門学校				
竹日	<b>丛</b> ガ					0	柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語				
授業科目名		臨床実習I					担当教員名	尾藤何時夢、範	菜々美、栗山貴行				
授業形態		講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次				
単位数					1	授業時間数	重期 後期 集中	前期 後期 集中	前期 後期 集中				
授業概要		柔道整復の臨床現場の様子を見学するとともに、補助的な業務に携わる。											
授業目標		患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの流れを把握し、適切な補助が行えるようになる。											
成績評	严価法	実習の様子や実習記録などをもって総合的に評価する。											
実務	経験	尾藤何	<b>尾藤何時夢・範菜々美・栗山貴行(あり/柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)</b>										
回数						授	業計画						
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7	柔道整復の臨床現場の見学												
8	補助的な業務を行う							学					
9	患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの一連の流れを見学												
10													
11													
12													
13													
14													
15													

<b>4</b> √ □	<b>ラハ</b>	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	和歌山	山医療スポーツ	専門学校				
科目	区分					0	柔道整復師	スポ゜ーツトレーナー	日本語				
授業科	4目名			臨床乳	E習 II		担当教員名	尾藤何時夢、	範菜々美、栗山貴行				
授業	形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次	2年次	3年次				
単位数					1	授業時間数	<b>町期後期集中</b>	前期 後期 集	中 前期 後期 集中				
授業概要		柔道整復施術所に来所する患者の各傷病について、臨床現場における施術の方法について学ぶ。											
授業目標		各傷病の病態を把握するとともに、各施術の目的や効果について理解を深める。											
成績評	平価法	実習の様子や実習記録などをもって総合的に評価する。											
実務経験		尾藤何時夢・範菜々美・栗山貴行(あり/柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)											
回数						授	業計画						
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7	柔道整復の臨床現場の見学												
8	補助的な業務を行う								>目 <i>学</i>				
9	患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの一連の流れを見学												
10													
11													
12													
13													
14													
15													